

vol.15

福祉たすけあい助成BOOK

第23期助成団体紹介



(2024年12月3日 第23期贈呈式)

目次

かながわ生き生き市民基金 福祉たすけあい基金	03
---------------------------	----

第1期～第23期までの申請・助成実績	04
--------------------	----

第23期福祉たすけあい基金（スタート助成） 選考講評	05
-------------------------------	----

・ こだぬき会 ・ NPO法人 ぴあっと	06
-------------------------	----

・ NPO法人 だあれ ・ みんなの居場所☆まんま遊〜と	07
---------------------------------	----

・ 一般社団法人 リトルハブホーム ・ わわわのわ	08
------------------------------	----

・ えがわさんちの会 ・ 一般社団法人 KidsFine	09
---------------------------------	----

・ フリースペース いろえんぴつ ・ かながわ県医療的ケア児者家族会〜つなぐ〜	10
--	----

・ はーぷす ・ 特定非営利活動法人むすびいと	11
----------------------------	----

・ ゆがわら・まなづるchallenged ・ わってらか	12
----------------------------------	----

・ 一般社団法人 森と泉 ・ (特非) 赤ちゃん食堂プロジェクト「ままな」	13
--	----



かながわ生き生き市民基金

◆私たちのミッション

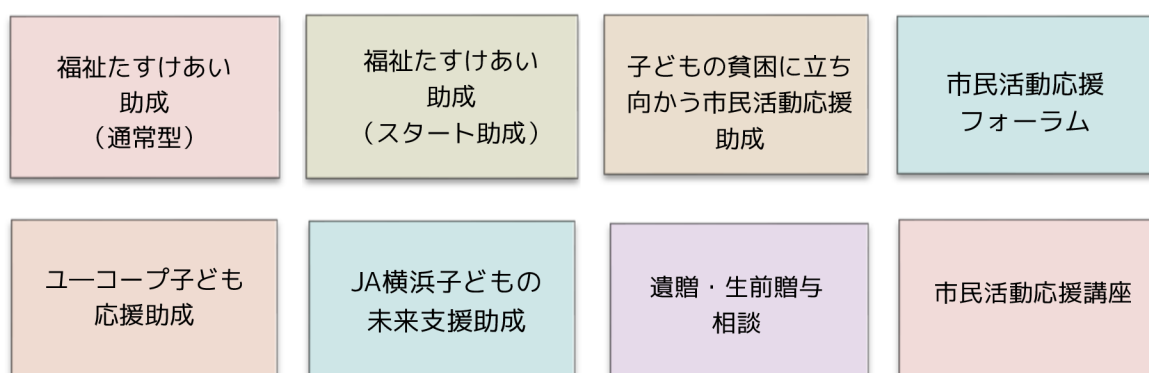
＜投資して利潤を稼ぐことが経済＞という考えが現代社会に蔓延しています。人々の社会生活は「経済成長」に付き従うべきだという主張につながります。

しかし一方で、豊かな生活をつくるのが経済の目的で、お金はそのための手段であるという考え方があります。人と人との関係の中に「温かいお金」を循環させようという主張です。

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平和など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、子どもや障がいを持つ人々などが生きにくい社会になっています。

「かながわ生き生き市民基金」は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

◆私たちの事業・活動



福祉たすけあい基金

◆福祉たすけあい基金

福祉たすけあい基金は、市民が主体となり活動を起こし、たすけあう関係を育て、おおぜいが支えあう地域をめざし、2003年から生活クラブ組合員が始めた生活クラブの集金システムを使う寄付活動です。2013年から公益財団法人かながわ生き生き市民基金の助成事業と財団運営費として寄付されてきました。ひとりの大きな寄付ではなく、おおぜいの市民の参加力でまとまった額の基金を創りだしているのが特徴です。

そして2024年10月から「生活クラブまちづくり基金」に形が変わり、意志ある組合員の寄付は、管理運営団体「生活クラブまちづくり基金」を経てかながわ生き生き市民基金に寄付されます。

市民基金では、生活クラブを通じた「毎月100円の組合員寄付」のほかに、直接市民基金へ寄付も受けつけています。直接寄付の利点は、①「毎月100円」より多くの寄付で市民活動を応援できる、②公益法人の税制優遇を活用できること、などがあります。

◆福祉たすけあい助成

福祉たすけあい助成は、①通常型の助成と、②比較的小さなアソシエーション等の活動の立ち上げや、活動初期の基盤づくりを応援する「スタート助成」を1回ずつ行っています。

第9期からは「スタート助成」を既存団体の新規事業立ち上げにも広げ、これによって既に地域で活動実績を持つ団体が、これまでの実践を通して見えてきた新たな地域課題の解決にも活用が広がっています。

また、申請時相談を必須としているため、申請書の書き方のアドバイスのみならず、申請団体にとっては事業・運営の考え方の整理などに役立てられています。

福祉たすけあい基金にはこれまで404 団体から約1億6,878万円の申請があり、地域で公益的な福祉たすけあいの市民活動を行う290団体へ約8,860万円を助成しました。

第1期～23期までの申請・助成実績



第1期～23期までの申請・助成実績

赤字部分はスタート助成

助成時期		助成 団体数	助成金額 (円)	申請 団体数	申請金額 (約万円)
第1期	2014年4月助成	9	4,514,100	34	2400
第2期	2015年2月助成	12	3,944,950	17	700
第3期	2015年5月助成	11	3,822,000	20	1084
第4期	2015年8月助成	13	3,389,131	20	1000
第5期	2016年3月助成	6	1,667,633	12	390
第6期	2016年8月助成	7	3,245,769	18	640
第7期	2017年3月助成	10	2,493,230	16	490
第8期	2017年8月助成	13	4,000,000	20	1000
第9期	2018年3月助成	16	4,346,100	24	740
第10期	2018年8月助成	11	3,560,382	19	859
第11期	2019年3月助成	14	4,440,364	15	508
第12期	2019年8月助成	11	3,941,072	13	611
第13期	2020年3月助成	12	3,266,759	13	393
第14期	2020年11月助成	8	3,275,903	10	544
第15期	2021年3月助成	16	5,000,000	17	581
第16期	2021年8月助成	11	3,996,881	11	461
第17期	2022年3月助成	18	4,998,871	21	716
第18期	2022年9月助成	17	4,000,000	21	999
第19期	2023年3月助成	19	4,700,000	20	642
第20期	2023年9月助成	15	4,000,000	15	523
第21期	2024年3月助成	17	3,792,000	21	599
第22期	2024年9月助成	8	3,285,176	10	433
第23期	2025年3月助成	16	4,944,942	17	580
合 計		290	88,625,263	404	16,878

第1期から第23期までのべ290団体に団体に助成を行ってきた中で、食支援や学習支援など、子ども・若者の貧困に関する活動を行っている団体や、不登校の子のための居場所やフリースクールなどの活動団体からの申請が多くなっています。また、障がいへの認知を広げる活動や障がいを持つ方の社会参加を支援する活動からの申請もあり、人々に寄り添いたすけあいをすすめる幅広い活動に助成が広がっています。

選考に当たっては、活動・事業の先駆性や有効性、持続性と共に、広く地域の人々や団体と連携し、時間・知恵・労力・お金などを拠出し合い、市民が主体となり地域の課題を解決する参加性が重視されます。また、市民の実践を根拠にアドボカシー活動を行い、社会を変えていく志が拡がることが期待されています。

第23期福祉たすけあい基金（スタート助成） 選考講評



選考委員長 手塚明美
（一社）ソーシャルコーディネートかながわ理事長
（公財）かながわ生き生き市民基金理事

第23期福祉たすけあい助成はスタート助成として、2024年11月に募集が始まりました。スタート助成は最長3年間の助成を視野に入れ、事業助成でありながら、活動スタート時の組織基盤強化へのサポートも考えています。応募されてきた申請書を見るたびに、神奈川県下には解決できていない地域課題や問題が多く残されている現状をまざまざと感じています。今回の応募も、申請団体の約2/3は新規応募で県下広く応募をいただいています。また、3回の助成回数をフルに活用し、飛び立てる準備を整える期間としての活用を申請いただいた団体も複数採択いたしました。

近年のボランティア活動団体の傾向として、2022年頃から新しい組織の誕生が増加傾向にある一方で、旧知の組織の解散も少なくありません。組織の継続は、組織運営をしている以上、常に課題とされており、悩みは尽きません。しかしながら、ボランティア団体にとっての最大の目的が、「課題の解決に資する活動を進めること」であるのであれば、組織のスクラップ＆ビルド（scrap and build）も活動継続の一つの手法とみることができます。スタートしたら続けることが求められていることは確かなことですが、立ち止まったり、戻ったり、別な関係者と行動を共にしたりなどして自分達らしい活動を探していく時期としてスタート助成を活用することもできると考えます。

第23期は17団体の申請に対し16団体の助成を採択いたしました。申請額通りではない団体もあります。基金の助成原資の流れが2025年度より少し変わりますが、引き続き「かながわ生き生き市民基金」の助成は続きます。皆さんの自主的な公益活動を支える助成金として引き続きご支援ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

選考委員

委員長 手塚明美	一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ理事長
委員 田中夏子	イタリア協同組合研究者/ 農業者
川岸卓哉	弁護士/（特非）原発ゼロ市民共同かわさき発電所理事長
友澤ゆみ子	（特非）ピッピ・親子サポートネット理事長
高村文子	三浦市民交流センターニナイテセンター長
伊藤保子	元（特非）さくらんぼ 理事長
矢野克子	生活クラブ生活協同組合神奈川副理事長
齊藤輝美	さがみ生活クラブ生活協同組合

こだぬき会（秦野市）

代表 西村 悦子

400,000円

【助成した活動】

フリースクール事業
「はだの自然学校」

【団体紹介】

★設立年月

2016年4月

★団体の活動目的・内容

子供達に「生き生きとしたこども時代」を！
規制やルールの多い現代の社会で、子供達が自然のなかで伸びやかに育つことができる場づくりをしています。

★団体情報

mail:24etsu@gmail.com

URL : <https://kodanuki.my.canva.site/>



【助成を受けての思い・メッセージ】

この度は、皆様からの心のこもった助成金を頂き、本当にありがとうございます。

子供達が生き生きとしたこども時代をおくれるような場づくりをしています。今、学校に行っていない子が当たり前のように沢山いる現状ですが、秦野市にはフリースクールはなく、市の支援もまだまだ足りない状況です。そのため、学校に行かないと子供同士の交流がなくなってしまったり、ひとりで過ごすことも達や、学ぶ場がなくなってしまう現状を変えたいと、フリースクールの立ち上げを決意して助成金に応募させて頂きました。



NPO法人 ぴあっと（相模原市緑区）

代表理事 五十嵐 舞子

273,000円

【助成した活動】

相模原×こどもの発達情報サイト「みかた」の地域への浸透と内容の拡充

【団体紹介】

★設立年月

2023年4月



★団体の活動目的・内容

“こどもの発達のみかたをふやす”をモットーに、発達ゆっくりさんや発達特性のある子が、地域の人とのつながりの中で、自分らしく安心安全な生活を送ることができる社会の実現を目指しています。

★団体情報

住所：相模原市緑区大島3197-5

TEL: 042-816-3050（事務局）

mail : info@npo-piatto.jp

URL : <https://lit.link/piatto>

【助成を受けての思い・メッセージ】

このたびは、「ぴあっと発達情報サイトみかた」の運営に3年目のご支援をいただき誠にありがとうございます。助成により、保護者の体験談や福祉制度の説明、地域イベント情報などの掲載をこの2年間で173件公開することができました。また、2年目は発達支援のコミュニティ「チームぴあっと」の皆様からの体験をまとめた「発達障害や知的障害のある子の歯医者さん事情」記事や地域の支援学級のイベントに取材に行ったりと、ぴあっとの活動から発展した記事の掲載もできました。情報に出会えたことで「ひとりじゃないと思えた」との声も届いており、大きな励みとなっています。

今後も、誰もが安心して子育てできる地域づくりを目指してまいります。ありがとうございました。



NPO法人 だあれ（二宮町）
代表理事 橋本 由恵
400,000円

【助成した活動】

多世代交流と自己実現による町づくり事業

【団体紹介】

★設立年月

2024年4月



★団体の活動目的・内容

多世代交流できる居場所づくりと、だれもが「やりたい」思いをかたちにできる、自己実現による地域づくり・町づくり事業。

★団体情報

住所：中郡二宮町二宮37-5

mail:dare.darenchi@gmail.com

URL：dare-12.jimdosite.com

【助成を受けての思い・メッセージ】

この度は、助成いただき本当にありがとうございました。私たちの活動は、個性豊かな多世代のみなさんとのご縁から、すべてが始まります。「やりたい」と思っても最初の一步が踏み出せない時に、共に考え協働する仲間づくりの場です。この場があることで、新たな発想やつながりが生まれています。地域にお住いのお一人お一人が活躍し、たすけあい、遊んだり、学んだり、おしゃべりしたり・・・こうした場が、この町のいろんな所にできたらいいと思います。

私たちもおかげさまで最初の一步を踏み出すことができました。これからもより多くの方に知っていただき、この場を活用いただけるよう積極的に発信していきます。また、他団体との協働活動にも取り組み、地域づくり・町づくりに貢献していきます。



みんなの居場所☆まんま遊〜と
（南足柄市）代表 山崎 由恵
400,000円

【助成した活動】

駄菓子家まんま遊〜と、みんなの居場所事業

【団体紹介】

★設立年月

2024年5月



★団体の活動目的・内容

神奈川県西地域で、遊びを通した子どもの主体的な成長『子育て』と、地域の様々な人が子どもに関わる『子育て』の実現を目的とします。

★団体情報

住所：南足柄市岩原240-1サンハイツ中島102号

TEL: 090-9151-8225

mail:yamazakiyoshie@t.vodafone.ne.jp

URL<https://www.facebook.com/profile.php?id=61557024634249&sk=about>

【助成を受けての思い・メッセージ】

この度は、私たちの活動にご理解いただき、基金助成をありがとうございます。私たちは、子どもたちがありの「まんま」の姿で心から遊べる社会を作りたい。苦しい時に「助けて」と言える場所であって欲しい。心と身体の栄養を「まんま（ごはん）」で満たしてほしいという願いで「まんま遊〜と（MANMMA AIUTOイタリア語で「ママ助けて」という意味）」という名前を居場所につけました。まんま遊〜とは、「子どもまんなか」を具現化する場所でありたいと考え、『子どもの権利条約』における四つの原則のうち「参加する権利・自分（たち）で決める権利」を大切に、子どもたちの「やりたいこと」が実現できるよう子どもたちとともに、子ども運営会議を通して寄付の使い方やまんままでの運営・企画をサポートしています。

この場所で、この居場所を必要としている子どもたちに出会い、子どもたちが日々の生きるエネルギーを自ら生み出せるチカラを養ってほしいと考えています。



一般社団法人 リトルハブホーム
(茅ヶ崎市) 代表 岩崎 愛
270,000円

【助成した活動】

おむすび寺子屋事業

【団体紹介】

★設立年月

2022年4月

★団体の活動目的・内容

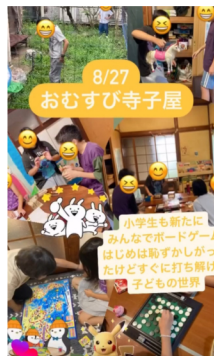
コロナ禍で社会的孤立がさらに深まる中で、貧困、虐待など様々な背景を持つ子どもや家庭が安心して育ち合う場を実現する。

★団体情報

住所：茅ヶ崎市東海岸南2-1-15

mail: littlehubhome@gmail.com

URL: <https://bit.ly/3xKBvxm>



【助成を受けての思い・メッセージ】

この度も助成をいただき、心より感謝申し上げます。みなさまのあたたかなご支援のおかげさまで“こどもが安心して育ち合う場”を行うことができました。活動を始めて3年、依然として子どもたちの状況の深刻化を感じております。見過ごされている子どもたち、安心して相談できる存在がいない親御さんの孤立、そして子どもの自殺もこども虐待も、少子化にも関わらず増え続けております。当団体はこの現状に向き合いながら、今後ともより良き方向のために尽力してまいりたいと思います。この間、福祉たすけあい基金で出逢った方々に、ご関心を寄せていただき、貴重なご意見やお心寄せいただき、大変お世話になりました。引き続き湘南・茅ヶ崎から広めてまいりたいと思います。ご関心ある方はぜひ一緒に“ちいさなかかわり”を広めていきませんか？みなさまとお会いできることをたのしみにしております！！3年間本当にありがとうございました！！



わわわのわ (茅ヶ崎市)
代表 菊地 萌
350,000円

【助成した活動】

～里山あそびと暮らしの場～わわわひろば

【団体紹介】

★設立年月

2023年10月



★団体の活動目的・内容

すべての人たちが安心して、遊び・学び・暮らすための「地域社会」と「人のつながり」をつくることを目的として、茅ヶ崎市北部の里山地域を拠点に遊び場や学び場、子育てや暮らしの拠点になる居場所づくりの活動をしています。

★団体情報

活動地域：茅ヶ崎市及び周辺地域

mail: wawawanowakids@gmail.com

Instagram

@wawawanowalabo (わわわのわ)

@wawawahiroba (わわわひろば)

【助成を受けての思い・メッセージ】

2024年度は初めての助成を頂き、「わわわひろば～里山遊びと暮らしの場～」を始めることができました。毎週金曜日、里山の自然の中にたくさんの未就園児の親子、不登校の小学生、それを支える地域の人たちが集い、一緒に「やさしいつながり」を感じながら過ごしています。

2025年度は、ここまでの活動からまた一つ踏み込んで、「やさしいつながりのある暮らし」と「里山アソマナ（遊び&学び）文化」を発信しながら、できることをみんなの力を借りながら一つ一つ取り組んでいきます。2年目の助成も大切にに使わせていただきます。私たちの活動にご理解とご支援を頂きありがとうございます。応援よろしくお願いします。



えがわさんちの会（座間市）

代表 桑原 典子

234,000円

【助成した活動】

みんなの居場所えがわさんちの会
地域のサロン事業

【団体紹介】

★設立年月

2023年12月

★団体の活動目的・内容

地域に密着した居場所づくり

★団体情報

住所：座間市南栗原6-4-36

mail:terada@sfs-net.com

URL：

<https://www.instagram.com/egawasanchi/>



【助成を受けての思い・メッセージ】

今回の助成を受けて大変嬉しく思っています。助成金のおかげで、夏の暑い日には、日陰ができた庭でプール遊びをしたり、バーベキューをしたり、冬の寒い日には、掘り炬燵でおしゃべりをしたり、遊んだりできる環境を整えることができます。

2025年度からは、新たに「みんなの食堂」を始めることにしました。今までは平日のお昼に開催していたイベントも、これからは午後から夕方に、また、週末に開催するものを増やし、学童から大学生まで、働くパパやママたちにも、新たに参加してもらえるように、そして、行く行くは、毎日えがわさんちを開けるよう、関わってくれる仲間を増やして活動を広げていきたいと思っています。

ふらっと、遊びにいらしてください。お待ちしております。



一般社団法人 KidsFine （相模原市中央区）代表 渡辺 晃子

216,000円

【助成した活動】

コミュニティスペース事業

【団体紹介】

★設立年月

2022年5月



★団体の活動目的・内容

Kids事業:子育て世代の方が、孤立しないで笑顔で過ごせるお手伝い。リラックスできる空間の中で、子育て中の親子が交流する場の提供。

Youth事業:障害を抱えた18歳以上の高校を卒業した若年層のコミュニティスペース。

★団体情報

住所：相模原市中央区中央1-1-8

プラズ相模原II101号

TEL：042-713-4951

mail：kids.fine2022.04@gmail.com

URL：http://Instagram.com/kidsfine_2022

【助成を受けての思い・メッセージ】

活動3年を通して kids Fine と youth Fine の活動が共存し合った社会作りの景色が見えてきました。子育て支援センターなどに行き辛い保護者が利用できる場所が増える孤立化が目立つ。様々なスキルをもった講師・ボランティアといった人材（地域資源）を発掘・活用しつながることができるため、地域の子育て世代や障害をもつ方が一緒に体験を通して社会参加の実現に繋げていける場所となっている。

多世代が交流できる必要性の実績を行政に伝えて今後は安心して過ごす居場所モデルとなる第3の居場所を相模原市中央区に行政協働課と調整し、誰もが利用しやすい施設作りに実績として発揮できるよう最終目標として考えている。

人と繋がり、孤立家庭を減らしみんなが安心して暮らせるようこれからも活動をしっかりと定着させていきたい。



**フリースペース いろえんぴつ
(平塚市) 代表 渡邊 真樹
400,000円**

【助成した活動】

学校に行くのが苦しいと感じる子どもたちの
居場所運営事業

【団体紹介】

★設立年月

2024年4月



★団体の活動目的・内容

子ども、若者に学校や家庭以外に一人ひとりが安心して過ごせる居場所を提供するとともに、学校外の学びや育ち、生き方を支援し、人間関係をはぐくむ環境を創造すること。

★団体情報

住所：平塚市西八幡1-1-27さかえビル3階

mail:fs.iroenpitsu@gmail.com

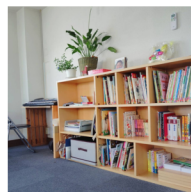
URL：https://iroenpitsu1127.jimdofree.com

【助成を受けての思い・メッセージ】

この度は私たちの活動にご理解と助成をいただき、心より感謝申し上げます。

学校に行くのが苦しいと感じる子どもたちが増え続ける中で、平塚市内には平日開設している民間が運営する居場所がないことから、「それならば私たちの力で」と有志が集まりました。およそ1年間検討を重ね2024年6月に開所。平日午前10時から午後3時まで開設しています。子どもたちが来ると、先ず私たちは「今日は、何をしたい？」と尋ねます。いろえんぴつは子どもたちが好きなように過ごせる場所。ゲームや読書、ゴロンとなって空を見たり…、何もしなくてもOKです。居場所運営のほか、保護者の皆さんが日頃感じている不安や疑問を話し合う場として、「おとなのおしゃべり会」も定期的で開催しています。これからは、助成により購入したパソコン、プリンターをフル活用し、地域との連携をさらに深めていきます。

今後とも応援よろしく願いいたします。



**かながわ県医療的ケア児者家族会～つなぐ～
(茅ヶ崎市) 代表 小山 陽子
114,150円**

【助成した活動】

かながわ医療的ケア児支援センターと
共催交流会事業

【団体紹介】

★設立年月

2022年2月



★団体の活動目的・内容

医療的ケア児者、その家族、支援業務に従事されている方が繋がって情報交換をしたりピアサポートの場を提供することを目的としている

★団体情報

mail：kanagawaikeatunagu202202@gmail.com

Instagram

https://www.instagram.com/tunagu_kanagawa?
utm_source=ig_web_button_share_sheet&igsh=
ZDNIZDcOMzIxNw==

【助成を受けての思い・メッセージ】

この度は、当会の活動に対してご理解と助成をいただき心より感謝申し上げます。設立4年目に入り会員数も増え、行政や支援者の方から医療的ケア児者の生活や課題について知りたいとご要望を頂く機会が増えてきました。助成金を活用させていただき計画していた活動を実施でき、当事者家族や支援者、行政の方との繋がりを広げることができています。子どもが医療的ケアとともに生きていくと分かった時は不安や葛藤、孤独感を感じやすく、しかし日々医療的ケアと育児に多くの時間を要する生活の中では、それらを解消する手立てをとる余裕すら持てないことも多々あります。情報や社会、人と繋がることでその思いが軽減していくことを目指し、当会がその一助となれるよう引き続き助成金を活用させていただき活動を継続していきたいと思います。



はーぷす（小田原市）

代表 野原 美和

150,000円

【助成した活動】

育ち支援団体 はーぷす 居場所作り事業

【団体紹介】

★設立年月

2022年8月



★団体の活動目的・内容

『すべての子ども達が一人で泣くことのない明日を地域で作る』を掲げ、歩幅は少しずつでも、一步一步確実にビジョン達成のため活動をしている。

★団体情報

住所：小田原市曽我岸268-3

電話：080-5050-2119(代表 野原)

mail: Hrps.odawara@gmail.com

【助成を受けての思い・メッセージ】

地域のために、「親子のために自分達ができることを長く続けていけるように」と活動してきました。利用して頂く人に、より良い環境を届けたいという思いから、今回ダメ元で応募しました。通過したとお知らせを頂いた時は驚きと共に、私たちの想いに共感して頂けたという喜び、そして応援してくれる方がいらっしゃるという大きな勇気を頂くことができました。何より日頃からお世話になっている生活クラブさんに応援いただけたということも嬉しかったです。

とあるお母さんとの会話で「お弁当毎日作るのって結構大変。冷凍食品を使うのは罪悪感があるし、良い素材を選ぶのは知識と時間がかかる。でも生活クラブのなら大丈夫！っと思えて助かっている。」と話していたことがありました。我が家も含め、子育て世帯には心強い味方です。そんな思いもある中で、かながわ生き活き市民基金を頂けたことは本当に光栄でした。



特定非営利活動法人 むすびいと （横須賀市）理事長 池井 将

399,292円

【助成した活動】

不登校の居場所「ミライのたいよう」及び高学年の居場所「ぬくもり」の継続的運営を目指すための法人化スタートアップ支援

【団体紹介】

★設立年月

2025年2月



★団体の活動目的・内容

- ・子供たちが「自分らしくいられる」居場所作り
- ・子どもたちに多種多様な体験の場の提供

★団体情報

住所：横須賀市根岸町5-7-28

電話：080-6137-2247

mail: npo.musubiito@gmail.com

URL: <https://www.musubiito.com/>

【助成を受けての思い・メッセージ】

この度は「第23期福祉たすけあい基金助成団体」にお選びいただき、誠にありがとうございます。私たちは、誰もが「自分らしく」いられる場所で過ごせることを願い、こどもたちの多様な居場所づくりに取り組んでいます。現在は、横須賀市の古民家（Miraie）を拠点に、不登校のこどもたちのための居場所「ミライのたいよう」と、高学年×少人数の放課後の居場所「ぬくもり」の2施設を運営しており、両施設あわせて約30家庭の大切な拠り所となっています。これまではボランティアを中心とした運営でしたが、今回の助成を基盤に、NPO法人としての体制を強化し、継続的な運営を目指してまいります。今後は、より多くのこどもたちにとっての「居場所」の選択肢のひとつとなれるよう、一層尽力してまいります。多くの方々や団体とのつながりを大切に、連携や賛助会員制度などを通じて協働できたら幸いです。



ゆがわら・まなづる challenged
(湯河原・真鶴町) 代表 神田 宏
198,500円

【助成した活動】

障がい児者およびその家族への支援事業と地域社会への障がいに対する理解促進活動

【団体紹介】

★設立年月

2023年12月



★団体の活動目的・内容

障がいをもつ当事者本人たちの豊かな生活の実現、そのための環境整備と当事者の保護者や家族への支援

★団体情報

住所：足柄下郡湯河原町

URL：<https://yugawara-manazuru-challenged.jimdosite.com/>

【助成を受けての思い・メッセージ】

この度、私たちの活動に対する助成の決定をいただき誠にありがとうございます。

発足から1年半が経ち、活動の幅が広がってきた時期にこの助成を受けることが出来たことは、とても助けとなり、励みになります。会の名称である「チャレンジド」は、「the challenged（挑戦という使命や課題、挑戦するチャンスや資格を与えられた人）」を語源としていることから、私たちの活動を通して、湯河原・真鶴町で暮らす方々が、障がいのある、なしに関わらず、より良い生活を送って行けるように、さまざまな「挑戦」をしてまいります。

今年度の活動にも、ご注目ください。



わってらか (小田原市)

代表 五十嵐 敦子

400,000円

【助成した活動】

親子と地域をつなぐ「まちの居場所」づくり

【団体紹介】

★設立年月

2021年10月



★団体の活動目的・内容

1. 地域に住む「ひと」と「おやこ」をやわらかくつなぐ居場所づくり
2. 小田原の「まち」でつながって育む暮らしの安心
3. こどもも大人も自ら創り出す楽しさ

★団体情報

住所：小田原市南町3-1-57

mail：waterraka@gmail.com

https://www.instagram.com/wa_terra_ka

【助成を受けての思い・メッセージ】

この度は助成を賜りましたこと、感謝申し上げます。

「孤立しがちな子育て世帯・親子をつなぐ場をつなぎたい」との思いでコロナ禍の2021年に活動を開始し、2024年10月に「まちの居場所カフェわってらか」をオープンしました。親子・こどもの居場所づくり、コミュニティカフェ、多様な地域活動の場として運営しています。いろいろな方々に助けていただきながら、少しずつ親子の輪、活動の輪が広がっています。また、拠点を構えたことで、多くの「タテ・ヨコ・ナナメ」のかかわりが増えてきています。この数か月の間にも私たちの活動エリアには移住で新居を構える方々が増えております。移住者も地元の方々も、ここでの子育てと暮らしが安心して楽しいものになるよう、取り組んでいきます。



（一社）森と泉（川崎市麻生区）

代表理事 森泉 由美子

360,000円

【助成した活動】

駅前屋台と縁側と庭でつなぐ多世代交流の
まちづくり

【団体紹介】

★設立年月

2024年4月



★団体の活動目的・内容

障害により言葉がうまく話せなくても、思い通りに体が動かせなくても、一人ひとりに合った方法で対話ができ、十分な情報提供により、自らの人生を納得して、選択・創造できる命の尊厳ある社会を作ります。

★団体情報

住所：川崎市麻生区上麻生5丁目6-6

電話：044-712-8811

mail：moritoizumi2024@gmail.com

【助成を受けての思い・メッセージ】

2024年に「日中一時支援そよそよ」を開業し、障害のある方々がその人らしく過ごせる居場所づくりを進めてきました。また、夏まつりや合唱サークルの開催を通じて地域住民とのつながりを広げ、地域交流の基盤を築いてきました。

今回の応募活動は、これをさらに発展させるもので、無機質で社会に閉じた福祉施設が多い中、無理なく地域とつながるための環境を整備し、地域住民と共に楽しめるイベントを開くことで、「そよそよ」が障害の有無や年齢を問わず誰もが気軽に立ち寄れる多世代交流拠点として認知され、日常的な交流が生まれることを願って企画いたしました。助成いただいたことを励みに、これらの交流を通じて、共に活動する仲間を増やし、障害の有無や年齢を超えて分け隔てなく学び合い、助け合い、多様性を認め合う文化、ひとつの大きな家族のような関係性を広げていきたいと思っています。



（特非）赤ちゃん食堂プロジェクト「まmana」

（寒川町）代表理事 菊地 愛美

380,000円

【助成した活動】

赤ちゃん食堂の拡大と立ち上げ支援の充実

【団体紹介】

★設立年月

2024年7月



★団体の活動目的・内容

手作り離乳食を無料で提供し、親には託児付き低価格ランチ・育児相談等で産後の親子が孤立しない居場所づくりを行っています。

★団体情報

住所：高座郡寒川町倉見599-2

（助産院mamana.house内）

電話：0467-53-9301

mail：akachanshokudo@gmail.com

URL：

<https://akachanshokudoproject.com/>

【助成を受けての思い・メッセージ】

前年度に続き当団体の活動に助成をいただき、産後孤立させない母子の居場所として寒川町内3拠点で赤ちゃん食堂を実施することができました。また困窮世帯から支援の要請をいただく機会もあり、ミルクを薄めて飲ませていたりやオムツが買えないというご家庭に対し、オムツ・ミルク・離乳食・リユース服などのベビー用品を無料配送し自立までサポートする取り組みも継続して行っています。

県内外から赤ちゃん食堂立ち上げの問い合わせをいただくようになり、赤ちゃん食堂実施手引きの作成、見学・研修の受け入れ、立ち上げ相談などを行い現在11都府県まで拡大、5県10団体で立ち上げ準備中です。頂いた助成金は離乳食研修費、交通費、施設維持などに使用させていただき赤ちゃん食堂がさらに拡大するよう人材育成に努めて参ります。



かながわ生き生き市民基金への寄付で市民活動を応援

■福祉たすけあい基金への寄付をお願いします。

生活クラブ福祉たすけあい助成は、公益財団法人かながわ生き生き市民基金が行っている助成プログラムです。助成の原資は、生活クラブの意志ある組合員が毎月100 円の寄付を行う「生活クラブまちづくり基金」を経て当財団に寄付されています。市民基金では公共性の高い市民活動・事業団体への助成と一部を公益財団の運営費に活用させていただいています。設立以降計290団体に約8,900万円の助成を行いました。助成団体についてはホームページをご覧ください。



赤ちゃん食堂「ままな」さんは地域で子育てをサポートする団体。離乳食を無料提供する日本初の赤ちゃん食堂



21期福祉たすけあい助成
贈呈式の様子



■賛助会員になり財団を応援してください。

公益財団法人かながわ生き生き市民基金は、助成事業（福祉たすけあい助成、オーダーメイド助成、事業指定助成）、研修・セミナー事業（フォーラム開催、報告書発行）、相談・助成事業、遺贈・生前寄付受付等を行っています。当財団の活動を継続的に支援してくださる「賛助会員」を募集しています。賛助会費は財団の運営に活用致します。賛助会員としてかながわ生き生き市民基金への応援をお願いします。以下のURL又はQRコードからのフォームで申込下さい。別紙の用紙にご記入されたものを財団にFAXして頂いても結構です。

<年会費>

個人会員：（1口1,000円）1口以上 法人・団体会員：（1口10,000円）1口以上

- ・賛助会費は当財団への寄付となり、税制優遇措置の対象となります。
- ・賛助会員として支援いただくと下記のような特典があります。

<会員特典>

- ・年次報告書の送付 ・助成団体報告書「福祉たすけあい助成BOOK」の送付
- ・フォーラム報告書の送付 ・当財団が企画開催するイベントへの招待（フォーラム、贈呈式等）

URL : <https://lively-citizens-fund.org/sanjo>

賛助会員について



申込について



賛助会員・福祉たすけあい基金 子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金 寄付申込書

財団の趣旨に賛同し、（賛助会員・福祉たすけあい基金寄付）に申し込みます。
 ※この用紙をFAX（045-620-9045）または郵便でお送りください。
 ※この用紙を当財団ホームページからダウンロードして、メール送付でも結構です。

申込年月日*	202 年 月 日		
ご氏名* (法人/団体名)	(フリガナ)		
	(法人・団体の場合、ご担当者：)		
ご住所*	〒		
TEL*		FAX	
ホームページや広報物へのお名前の掲載*	☐ 可	☐ 匿名希望	
メールマガジンや広報物の送付、イベント案内など*	☐ 必要	☐ メールマガジンのみ必要	☐ 不要

*印は必ずご記入ください。

☐ 賛助会員 (個人会費)	申込口数 () 口 <u>1口1,000円以上、何口でも</u> ※会員の期間は、4月～翌年3月となります。		
☐ 賛助会員 (法人・団体)	申込口数 () 口 <u>1口10,000円以上、何口でも</u> ※会員の期間は、4月～翌年3月となります。		
☐ 福祉たすけあい 基金への寄付	寄付金額 () 円 <u>1,200円以上、いくらでも</u>		
☐ 子どもの貧困に 立ち向かう市民活動 応援基金への寄付	寄付金額 () 円 <u>1口10,000円以上、何口でも</u>		
領収書発行	※当財団への賛助会費・福祉たすけあい基金・子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成への寄付 は寄付控除の対象となります。 ☐ 必要 ☐ 不要		
お支払い 方法	☐ ゆうちょ銀行から振込 記号番号 00250-0-72370	☐ ゆうちょ銀行以外から振り込み ゆうちょ銀行 店名：〇二九店 口座番号：0072370	振込予定日 月 日
	名義：公益財団法人かながわ生き生き市民基金		

※いただいた個人情報は、領収書の発行、財団からの各種ご案内の送付以外の目的では一切使用致しません。



発行：公益財団法人 かながわ生き生き市民基金

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル6F

Tel：045-620-9044 Fax：045-620-9045

Mail：info@lively-citizens-fund.org

URL： <https://www.lively-fund.sakura.ne.jp>

発行日：2025年6月1日